

ビジネストラスト分析のためのユースケース整理とパターン分析 Use Case Survey and Pattern Analysis for Business Trust Analysis

山口 俊輔 *
Shunsuke Yamaguchi

笠波 昌昭 *
Masaaki Kasanami

小牧 大治郎 *
Daijiro Komaki

坂口 昌隆 *
Masataka Sakaguchi

野田 敏達 *
Bintatsu Noda

兒島 尚 *
Hisashi Kojima

キーワード トラスト、リバンドリング、不確実性、リスク、ビジネス設計

あらまし

デジタル技術の発展により、企業が持つビジネス機能を分解し、これらを柔軟に再結合して新たな価値提供を可能にする、リバンドリングが注目されている[1]。リバンドリングにおいては、複数の利害が異なるステークホルダーが関係するため、ステークホルダー間の信頼構築が重要である。相互の信頼には不確実性が存在し、ビジネスの企画・設計段階から不確実性の対処を考慮しておく必要があるが、このために想定されるリスクなどに関する知識や専門性が必要となる。

本稿では、ステークホルダー間の信頼構築が重要と考えられるビジネスの事例を収集し、想定される不確実性と実施されている対処策について調査した。そして、ビジネスモデルの種類毎に、共通する不確実性と対処策を整理し、パターンとして分類した。本パターンを活用することにより、リスクに関する高度な知識や専門性を持たない一般のビジネス設計者でも、不確実性に対処したビジネス設計が可能となる。

参考文献

[1] 経済産業省, “デジタル市場に関するディスカッションペーパー ～ 産業構造の転換による社会的問題の解決と経済成長に向けて ～,”
<https://www.meti.go.jp/press/2020/01/20210108002/2020108002-1.pdf>, 2020.

* 富士通株式会社, 神奈川県川崎市中原区上小田中 4-1-1, Fujitsu Limited, 4-1-1 Kamikodanaka, Nakahara-ku, Kawasaki-shi, Kanagawa, Japan.